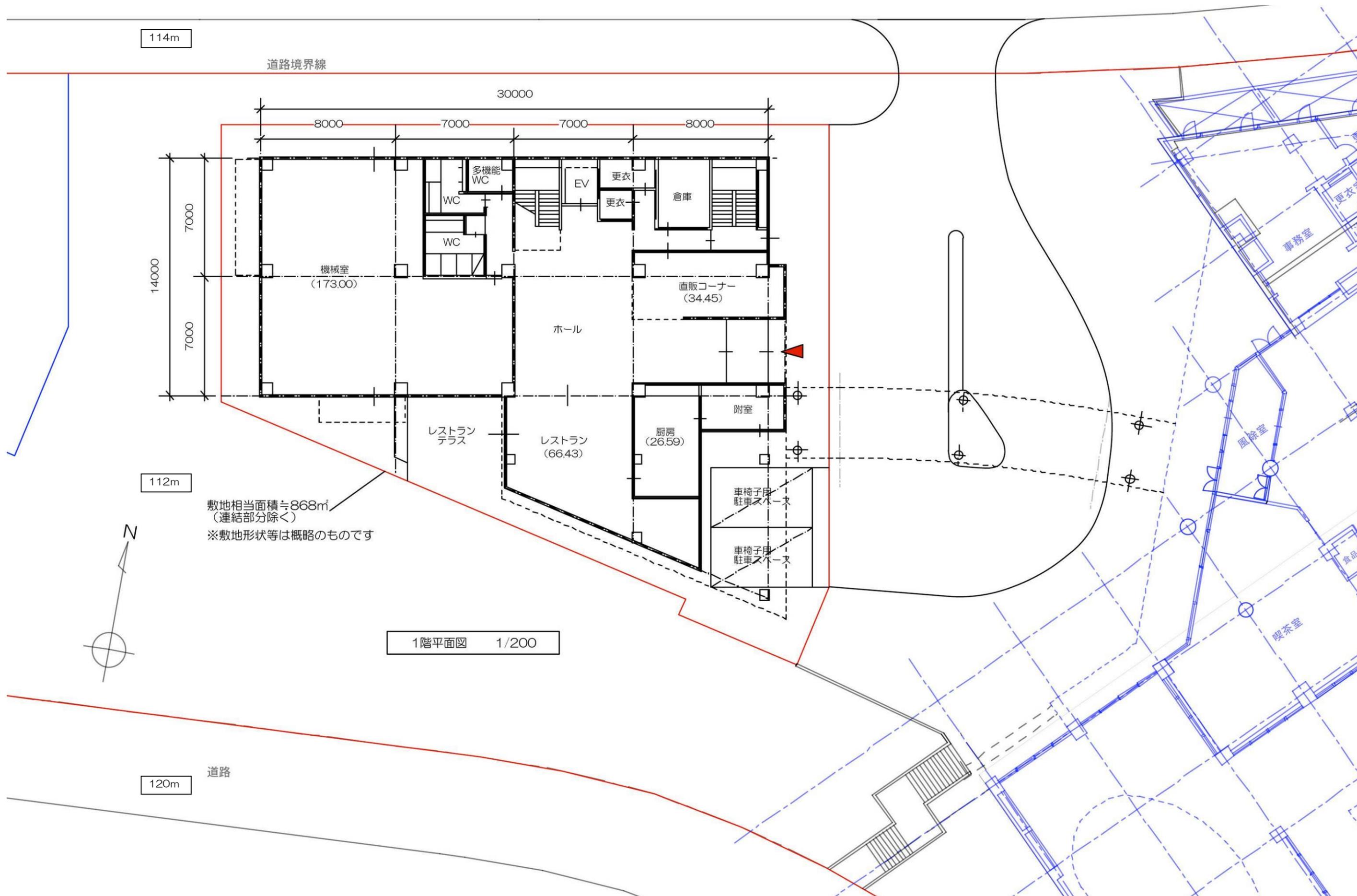


## 健康増進温浴施設の簡易設計結果

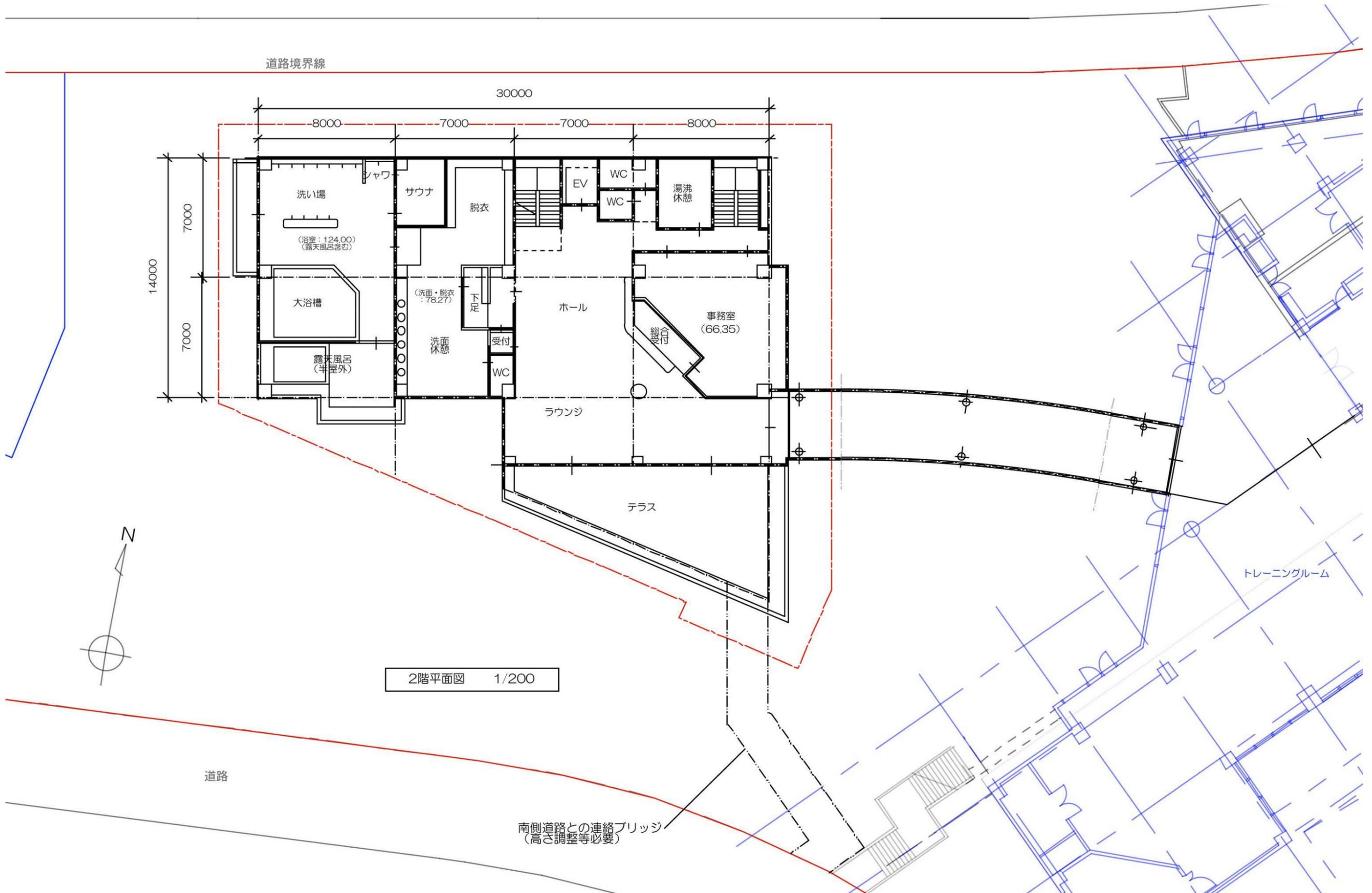
<p>健康増進温浴施設の整備にあたり、設置可能な機能等について検討することを目的に簡易設計を行いました。</p> <p>なお、町田市立室内プールとの接続方法によって設計等の内容が大きく異なるため、接続方法が異なる2案を作成し、比較整理しました。</p>
<p><b>【主な設計条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用途地域等：準工業地域、建ぺい率60%、容積率200%、31m第二種高度地区</li> <li>・対象敷地：町田市立室内プール 第1駐車場敷地 約860㎡（約260坪）</li> <li>・規模：地上3階建て</li> <li>・その他：建築基準法上は室内プールの増築として扱うため、室内プールと接続する</li> <li>・施設、機能：温浴施設（男女別）、休憩所（畳敷き、椅子掛け）、レストラン（食堂）を優先して配置</li> </ul>
<p><b>【検討結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の延べ面積は、概ね1500㎡</li> <li>・A B案ともに、温浴施設（男女別）、休憩所（畳敷き、椅子掛け）、レストラン（食堂）を確保することは可能。</li> <li>・A B案の比較については右表の「利点」「課題・留意点」を参照。</li> </ul> <p>・屋上駐車場について                  ※健康増進温浴施設の屋上と南側道路の高低差を考慮すると、屋上への車路の勾配が法令の基準を超えるため設置は難しい。                  ※健康増進温浴施設の屋上の標高が124.3m。南側道路の標高が120m。高低差が4.3m。屋上と南側道路の距離が約20m。                  ⇒屋上と南側道路をつなぐ車路の勾配が21.5%となり、法令（駐車場法施行令に定める基準17%未満）を超える。</p>

	A案	B案
室内プールとの接続方法	・ロータリー上部（温浴施設2階レベル）にブリッジを渡して接続	・地上部で接続
1階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レストラン（66㎡）</li> <li>・直売コーナー（34㎡）</li> <li>・機械室（173㎡）</li> <li>・車いす用駐車場（2台分）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レストラン（139㎡）</li> <li>・喫茶コーナー（室内プールとの連絡通路兼ねる）、喫茶テラス</li> <li>・事務室（35㎡）</li> <li>・機械室（154㎡）</li> </ul>
2階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温浴施設（202㎡） ※大浴槽、半屋外露天風呂、サウナ、洗面・脱衣室</li> <li>・ラウンジ（53㎡）</li> <li>・室内プールとの連絡ブリッジ</li> <li>・屋外テラス</li> <li>・事務室（66㎡）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温浴施設（202㎡） ※大浴槽、半屋外露天風呂、サウナ、洗面・脱衣室</li> <li>・休憩所（47㎡）（畳敷き20帖）</li> <li>・休憩所（47㎡）（椅子掛け）</li> <li>・屋外テラス</li> </ul>
3階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温浴施設（202㎡） ※大浴槽、半屋外露天風呂、サウナ、洗面・脱衣室</li> <li>・休憩所（47㎡）（畳敷き20帖）</li> <li>・休憩所（47㎡）（椅子掛け）</li> <li>・屋外テラス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温浴施設（202㎡） ※大浴槽、半屋外露天風呂、サウナ、洗面・脱衣室</li> <li>・多目的室（68㎡）</li> </ul>
面積（㎡）	1階床面積： 524.40㎡ 2階床面積： 579.96㎡（連結部分含む） 3階床面積： 413.95㎡ 延床面積： 1518.31㎡（連結部分含む） 建築面積： 663.18㎡（連結部分含む）	1階床面積： 706.79㎡（連結部分含む） 2階床面積： 413.95㎡ 3階床面積： 413.95㎡ 延床面積： 1534.69㎡（連結部分含む） 建築面積： 704.63㎡（連結部分含む）
利点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存ロータリーを継続使用することで無理のないアプローチができる。</li> <li>・車いす用駐車場は温浴施設側でとれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上連結部分を中心に喫茶・レストラン機能を配置し、室内プールと温浴施設との一体的利用を図りやすい。</li> </ul>
課題・留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温浴施設の2階レベルで室内プールと接続するため、室内プール側のトレーニングルームの規模が制限されるなど、B案に比べて既存施設への影響が大きい。</li> <li>・連絡ブリッジ下の車通行可能高さが限定される（約2.8m～3.0m）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロータリーが小さくなる。</li> <li>・車いす用駐車場は室内プール側にとることになる。</li> </ul>

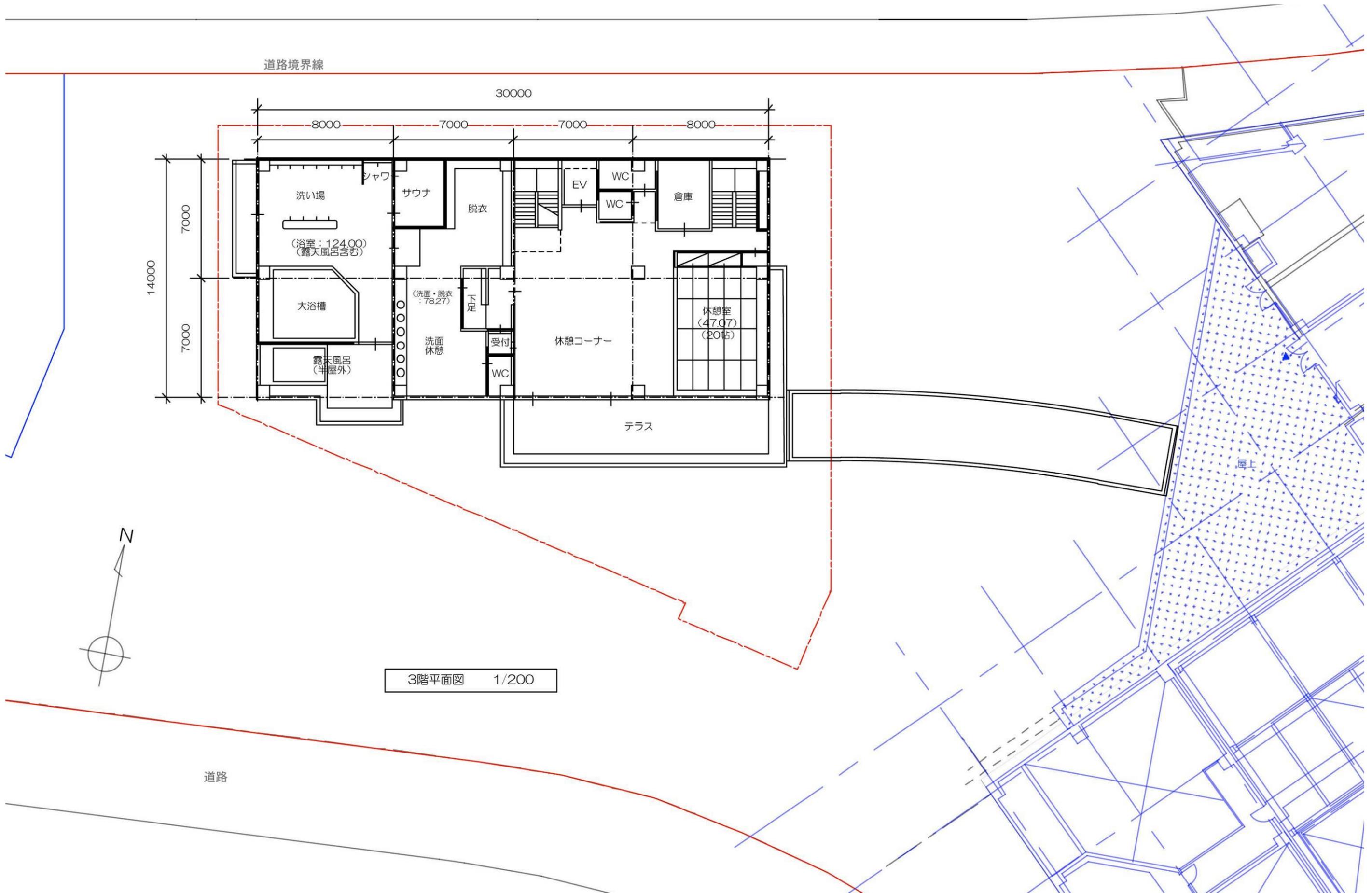
A案（ロータリー上部（温浴施設2階レベル）にブリッジを渡し接続）1階平面図



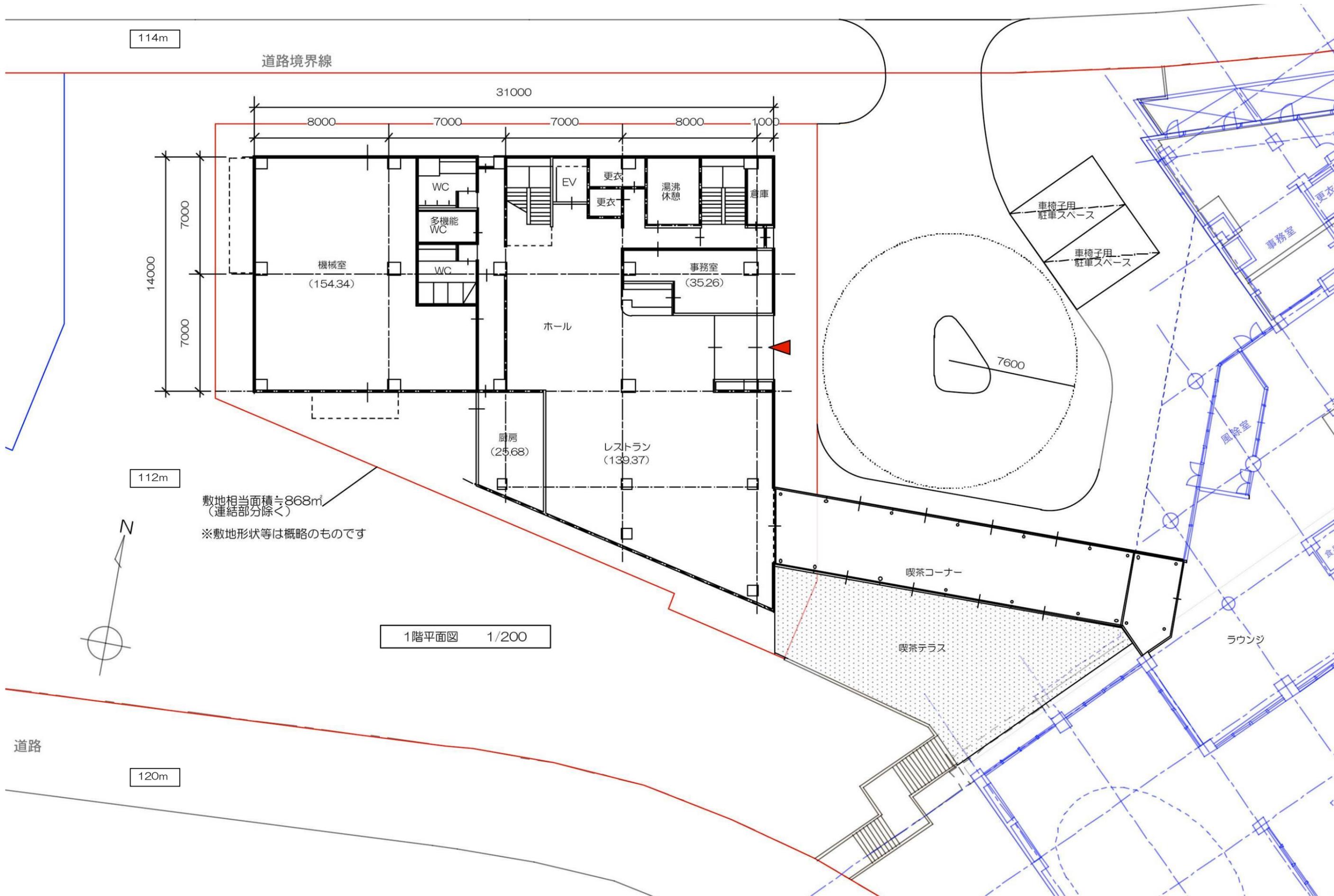
A案（ロータリー上部（温浴施設2階レベル）にブリッジを渡し接続）2階平面図



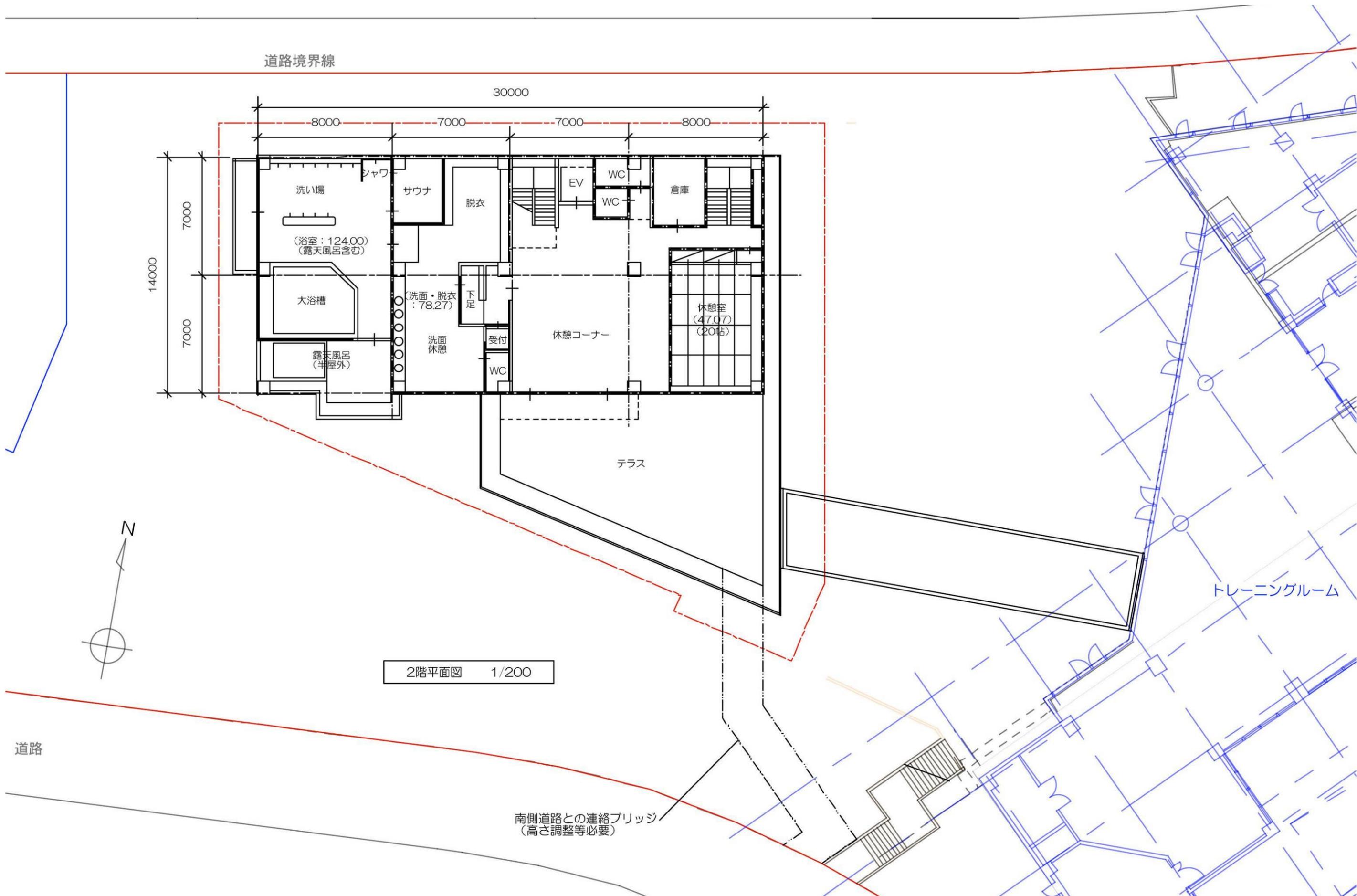
A案（ロータリー上部（温浴施設2階レベル）にブリッジを渡し接続）3階平面図



B案（地上部で接続）1階平面図



B案（地上部で接続）2階平面図



2階平面図 1/200

B案（地上部で接続）3階平面図

